



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 乾 汽船 株式会社

コード番号 9113 URL <http://www.inuishop.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 乾 隆志

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 田辺 聡

TEL 03-3548-3270

四半期報告書提出予定日 平成26年8月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,431	12.0	3	—	△22	—	△835	—
26年3月期第1四半期	3,956	25.8	△462	—	△468	—	△421	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △910百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △86百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△28.41	—
26年3月期第1四半期	△14.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	32,591	18,654	56.9	630.66
26年3月期	33,314	19,658	58.7	664.78

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 18,547百万円 26年3月期 19,551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	3.00	3.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成27年3月期の配当予想額につきましては、未定であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	12.2	270	—	80	—	△770	—	△26.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期の連結業績予想については、現時点で第2四半期(累計)の合理的な業績予想の算定が困難であるため、通期の業績予想のみを開示しております。詳細は、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、平成26年10月1日にイヌイ倉庫株式会社との経営統合を予定しております。業績予想には本経営統合による影響を織り込んでおりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	29,429,335 株	26年3月期	29,429,335 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	19,460 株	26年3月期	19,460 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	29,409,875 株	26年3月期1Q	29,409,875 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年6月30日）の世界経済は、米国では企業部門の業績回復や雇用情勢の改善などを背景に緩やかな拡大基調が続き、欧州でもマイナス成長からの緩やかな持ち直しが続きました。アジアでは中国の経済成長率が7%台の安定成長を続けているものの、他の新興国では伸び悩みの傾向が続きました。

我が国経済では消費税増税前の駆け込み需要の反動により個人消費が減少し、景気の一時的な押し下げ要因となりましたが、雇用情勢が改善し設備投資の回復も見られるなど、依然として緩やかな回復基調が続きました。

不定期船外航海運業を取り巻く環境としましては、世界的な船腹過剰の影響を受け低調な市況が続きました。当社が主力とするハンディサイズばら積み船の運賃・用船市況につきましては、昨年後半にいったん回復基調となっていました。2月頃より下落に転じ、現在に至るまで下落を続けております。

その中において当社は、自主運航による効率的な配船を追求すると共に、減速航海の深度化による更なる燃料費削減などを実施し収益改善に努めてまいりました。これらの施策により、四半期単位での営業利益は、第96期連結会計年度の第1四半期以来、12四半期（3年）ぶりに営業黒字を回復しました。

（単位：百万円 △は損）

(連結会計期間)	第98期				第99期
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
売上高	3,956	3,948	4,332	4,248	4,431
売上総損益	△ 220	△ 161	3	128	242
営業損益	△ 462	△ 391	△ 239	△ 110	3
経常損益	△ 468	△ 456	△ 126	△ 187	△ 22

特別損益に関しましては、合併関連費用を計上していること、ならびに現在の用船市況に比べ高い借船契約をしている船舶の一部について早期解約を実施したことによる用船契約解約金を計上しております。このため当期純利益では大幅な赤字となりました。

具体的な数字といたしましては、当第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年6月30日）の連結売上高は4,431百万円（前年同期比475百万円の増加）、営業利益は3百万円（前年同期は462百万円の損失）、経常損失は22百万円（前年同期比446百万円の縮小）、四半期純損失は835百万円（前年同期比414百万円の拡大）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は32,591百万円となり、前連結会計年度末に比べ723百万円の減少となりました。主な要因は現金及び預金の減少1,309百万円、海運業未収金の増加201百万円、貯蔵品の増加160百万円、新造船2隻の建造契約・起工などともなう有形固定資産の増加259百万円等によるものです。

負債は13,936百万円となり、前連結会計年度末に比べ280百万円の増加となりました。これは主に海運業未払金の増加381百万円、短期借入金の増加69百万円、長期借入金の減少117百万円等によるものです。

純資産は18,654百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,003百万円減少しました。これは主に利益剰余金の減少928百万円、その他の包括利益累計額の減少75百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の見通しにつきましては、荷動きの回復には不透明感が残るものの、運賃・用船市況を下押ししていた新造船の大量竣工についてはピークを過ぎ、船腹の需給関係については漸次回復に向かうと予想しております。

為替レートについては、日銀による大規模な金融緩和を背景とした円安が、概ね足元の水準を保ったまま推移するものとし、また燃料油価格につきましては、投資マネーの離散やシェールオイルの開発本格化などにより先安感があるものの概ね現在と同水準で推移するものとして次期の業績の見通しの前提としております。

また、グループ保有船の代替計画に沿った老齢船に加え高船価船の売却処分を順次進めると共に、現在の用船市況に比べ高い用船契約をしている船舶の一部について、引き続き早期解約を進めることとしております。

以上の前提で、当期の連結業績につきましては、以下の通り予想しております。なお、業績予想には後述の経営統合による影響を織り込んでおりません。

売上高18,500百万円、営業利益270百万円、経常利益80百万円、当期純損失770百万円

当社は、本年10月1日にイヌイ倉庫株式会社との経営統合を予定しております。両社の総力をあげて経営統合の効果を早期に実現するとともに、収益力の一層の向上と強固な財務基盤構築に邁進し、企業価値の最大化を図り、本経営統合が株主の皆様や資本市場からより高い評価を得られるように努力してまいります。

なお、統合新会社の配当方針は現段階で未定です。確定次第お知らせいたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,494,630	5,184,731
海運業未収金	1,137,293	1,338,416
貯蔵品	906,328	1,066,665
繰延及び前払費用	491,749	438,373
未収還付法人税等	1,872	8,234
その他	657,639	689,215
流動資産合計	9,689,513	8,725,636
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	17,244,145	16,689,606
その他(純額)	912,586	1,726,293
有形固定資産合計	18,156,731	18,415,900
無形固定資産		
	76,801	70,723
投資その他の資産		
投資有価証券	4,984,019	4,966,238
その他	407,453	412,829
投資その他の資産合計	5,391,473	5,379,067
固定資産合計	23,625,006	23,865,691
資産合計	33,314,520	32,591,327
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	1,329,472	1,710,484
短期借入金	1,496,670	1,565,766
賞与引当金	23,767	5,771
その他	434,320	396,128
流動負債合計	3,284,230	3,678,150
固定負債		
長期借入金	9,287,214	9,169,533
退職給付に係る負債	2,016	—
特別修繕引当金	209,419	230,028
その他	873,087	858,673
固定負債合計	10,371,738	10,258,236
負債合計	13,655,969	13,936,386

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,351,682	3,351,682
資本剰余金	2,098,314	2,098,314
利益剰余金	12,514,705	11,586,338
自己株式	△6,320	△6,320
株主資本合計	17,958,383	17,030,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	309,620	284,171
繰延ヘッジ損益	△19,386	△41,938
為替換算調整勘定	1,302,569	1,275,327
その他の包括利益累計額合計	1,592,802	1,517,560
新株予約権	107,365	107,365
純資産合計	19,658,551	18,654,941
負債純資産合計	33,314,520	32,591,327

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	3,956,596	4,431,677
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	4,176,767	4,189,526
売上総利益又は売上総損失(△)	△220,171	242,150
一般管理費	241,940	238,521
営業利益又は営業損失(△)	△462,111	3,628
営業外収益		
受取利息	14,733	14,696
受取配当金	24,055	30,332
船舶燃料受渡精算金	70,958	30,609
その他	9,659	11,878
営業外収益合計	119,407	87,517
営業外費用		
支払利息	58,538	82,094
為替差損	19,182	20,101
船舶燃料受渡精算金	13,939	967
有価証券運用損	32,250	—
その他	2,239	10,087
営業外費用合計	126,149	113,251
経常損失(△)	△468,853	△22,105
特別利益		
固定資産売却益	6,153	—
投資有価証券売却益	20,430	—
特別利益合計	26,583	—
特別損失		
用船契約解約金	—	725,366
合併関連費用	—	108,631
特別損失合計	—	833,997
税金等調整前四半期純損失(△)	△442,269	△856,103
法人税、住民税及び事業税	950	950
法人税等調整額	△21,857	△21,415
法人税等合計	△20,907	△20,465
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△421,362	△835,638
四半期純損失(△)	△421,362	△835,638

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△421,362	△835,638
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	125,600	△25,448
繰延ヘッジ損益	99,759	△22,551
為替換算調整勘定	109,463	△27,242
その他の包括利益合計	334,824	△75,242
四半期包括利益	△86,537	△910,880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△86,537	△910,880

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、外航海運業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

定期用船の期限前解約

当社は、現在の市況に比べ割高となっているスモールハンディ型船1隻の定期用船契約に関し、今後の損失の軽減を図るため平成26年8月末に期限前解約を実施することを決定致しました。これにより約253百万円の解約違約金が発生する見込みです。